

表1 業種別（前年比較） ※()内は死亡（内数）

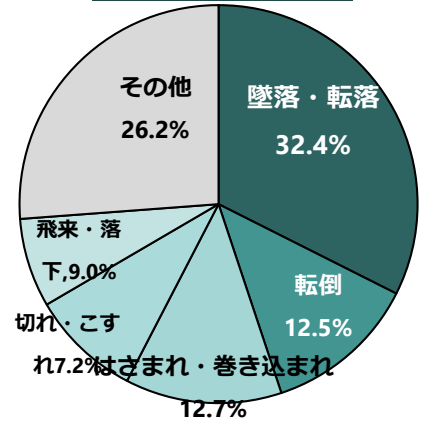
業種別	令和5年（12月）		前年同期		前年比較		
	死傷者数（人）	構成率	死傷者数（人）	構成率	死傷増減数（人）	死亡増減数（人）	
全業種	5,883 (23)	100.0%	9,950 (29)	100.0%	-4,067	(-6)	
製造業	1,067 (6)	18.1%	1,105 (10)	11.1%	-38	(-4)	
建設業	401 (6)	6.8%	508 (5)	5.1%	-107	(1)	
建設業の内訳	(土木工事)	90 (1)	1.5%	93 (1)	0.9%	-3	
	(建築工事)	185 (2)	3.1%	287 (2)	2.9%	-102	
	(その他の建設)	126 (3)	2.1%	128 (2)	1.3%	-2	(1)
陸上貨物運送業	579	9.8%	604 (1)	6.1%	-25	(-1)	
林業	21 (1)	0.4%	24	0.2%	-3	(1)	
商業	777 (3)	13.2%	856 (3)	8.6%	-79		
保健衛生業	1,705 (1)	29.0%	5,312 (1)	53.4%	-3,607		
接客娯楽業	343 (3)	5.8%	374	3.8%	-31	(3)	
その他	990 (3)	16.8%	1,167 (9)	11.7%	-177	(-6)	

建設業における休業4日以上の死傷者数は、全産業の6.8%を占めています。このうち、工事の種類別では、建築工事における労働災害が46.1%を占めています。

表2 事故の型別 ※表中の数字は人数、()内は死亡（内数）

建設工事・事故の型別	死傷者数	(土木工事)	(建築工事)	(その他の建設)
墜落・転落	130 (2)	23	69 (1)	38 (1)
転倒	50	14	23	13
飛来・落下	36	6	18	12
倒壊・崩壊	7	1	6	
激突され	19 (1)	5	9	5 (1)
はさまれ・巻き込まれ	51 (1)	18	15	18 (1)
切れ・こすれ	29	4	17	8
高温・低温の物との接触	10 (1)	3 (1)	2	5
交通事故	13 (1)	3	3 (1)	7
その他	56	13	23	20
合計	401 (6)	90 (1)	185 (2)	126 (3)

グラフ 事故の型別



「墜落・転落」災害が最も多く発生しており、全体の32.4%を占めています。

表3 災害程度別 ※表中の数字は人数、()内は死亡（内数）

建設工事・災害程度別	4日以上2週未満	2週以上1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上	死亡	計
土木工事	13	14	39	22	1	1	90 (1)
建築工事	36	31	63	45	8	2	185 (2)
その他の建設	20	31	41	26	5	3	126 (3)
合計	69 (0)	76 (0)	143 (0)	93 (0)	14 (0)	6	401 (6)

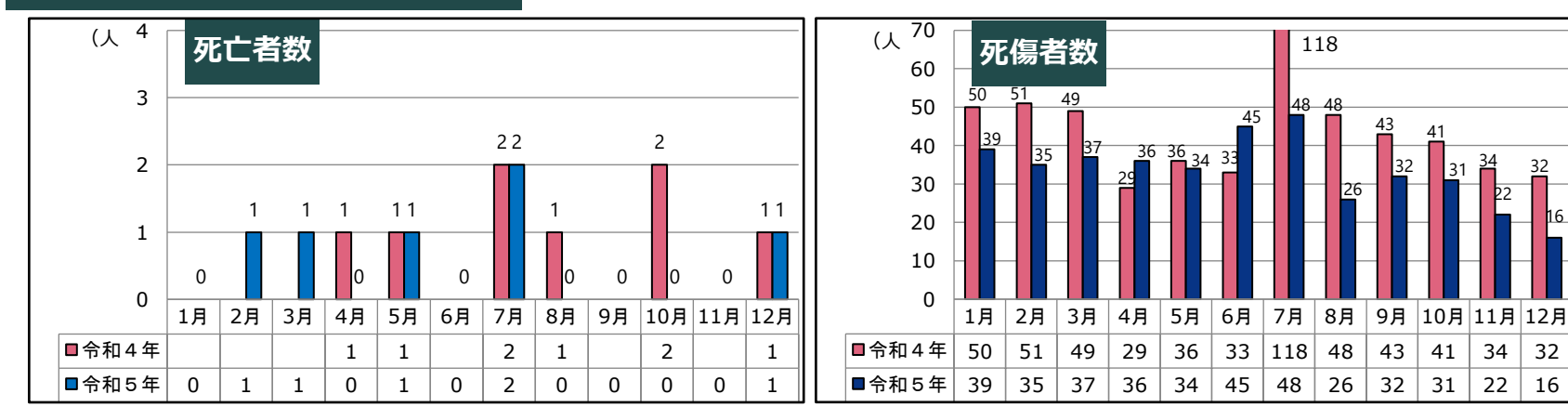
休業1か月以上となる災害が全体の63.8%を占めています。

表4 年齢別 ※表中の数字は人数、()内は死亡（内数）

建設工事・年齢別	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	計
土木工事	2	10	7	16	25 (1)	17	13	90 (1)
建築工事	6	36	23 (1)	41 (1)	46	20	13	185 (2)
その他の建設	1	15 (1)	23	31 (1)	30	22 (1)	4	126 (3)
合計	9 (0)	61 (1)	53 (1)	88 (2)	101 (1)	59 (1)	30 (0)	401 (6)

60歳以上の高齢労働者が全体の22.2%を占めています。

表5 月別発生状況 ※令和4年は確定値



建設業における死亡災害発生状況（兵庫県内）

兵庫労働局安全課

令和5年統計速報（令和5年12月末日現在）※死亡災害報告によるデータ

件数	災害発生		業種	年齢	職種	事故の型	起因物	発生状況概要
	月	時間	小分類			分類項目	小分類	
1	2	13時台	機械器具設置工事業	20代	設備機械工	墜落・転落	開口部	コンベヤー更新工事で、サイロ7階のコンベヤー設置予定箇所である開口部から5.2m下の6階に墜落した。墜落制止用器具は着用し、開口部周囲に単管を設けていたが、臨時に取り外していた。
2	3	10時台	建築設備工事業	30代	板金工	墜落・転落	建築物・構築物	空調設置工事において、2階建て建屋屋上のパラペット上（幅約20センチメートル）で空調用ダクトに巻かれた保温材の外側にガルバリウム鋼板を貼る作業中、約11メートル下の地面に墜落した。
3	7	17時台	その他の土木工事業	50代	その他の作業者	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	造成工事において、外周擁壁の型枠組立作業の補助作業に従事していた被災者が、作業を終了し片付けを行っていたところ、突然ふらつき始め、地面に横たわり、受け答えができない状態になったもの。
4	7	13時台	その他の建築工事業	60代	作業者・技能者	激突され	玉掛用具	移動式クレーンでH形鋼材を、つりクランプ1個で玉掛けして縦に吊り上げ、既存の柱の近くに移動して着地させたが、被災者が作業をしていたので、別の柱に再び移動しようと、H形鋼材を地切りして水平移動中に、H形鋼材つりクランプから外れて落下し、地面に落ち倒れて被災者に当たった。
5	5	15時台	その他の建築工事業	40代	作業者・技能者	交通事故（道路）	乗用車、バス、バイク	社用車で現場の見積もりに向かう途中、センターラインを越えてしまい大型トラックと正面衝突し、治療のため入院していた病院で後日死亡した。
6	12	10時台	機械器具設置工事業	40代	作業者・技能者	はさまれ、巻き込まれ	高所作業車	被災者が高所作業車をバスケット内の操作盤で運転し、もう1人の労働者と2人で建屋側壁に排気フード設置用の開口を開ける作業を行った。その後、被災者が引き続き作業床を移動させていたところ、高所作業車のバスケットの手すりとは建屋の屋根部材との間に頸部をはさまれたもの。